

令和6年度 学校経営計画書

学校名	倉敷市立工業高等学校
校長氏名	芦田 忠大

○本校のミッション（使命、存在意義）

多様な学習ニーズに応える県下唯一の夜間定時制工業高等学校として、働きながら学ぶ生徒の基礎学力の定着を支援し、確かな勤労観、職業観を育む教育活動を通して、専門的な知識・技能で社会に貢献できる人材の育成を目指す。

○ミッションの追求を通じて実現しようとする本校の学校経営ビジョン（将来像、目指す姿）

1 生徒にとって

- (1) 工業に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し、実践力を有する生徒を育成する学校。
- (2) 「学びやすく、安心・安全」な学校。
- (3) 「働きかつ学ぶ」というライフスタイルを確立し、生き生きと登校できる学校。
- (4) 自主的活動を通じて、心身ともに健全に成長できる学校。

2 地域、保護者、教職員にとって

- (1) 学校経営計画を理解・共有し、連携・協働を通じて、その実現を目指す学校。
- (2) 情報発信に努め、地域・保護者との連携・協力を通じて信頼される学校。

○当該年度の具体的な学校経営目標・計画

1 生徒理解をすべての教育活動の根幹とする。（生徒理解）

- (1) 生徒の未来シートや生徒連絡会の充実
- (2) GoogleWorkspace等を活用した支援体制の充実
- (3) SC・SSWと連携した多様な生徒への支援の充実

2 主体的に学ぶ喜びを体感させる。（授業）

- (1) ものづくり教育やICTを活用した授業の充実
- (2) 教科横断的な連携による基礎学力の充実、全教員を対象とした公開授業の実施
- (3) 自己評価やルーブリックを活用したパフォーマンス評価手法の推進

3 自己肯定感を持たせる。（自主）

- (1) 生徒会活動、クラス活動、委員会活動、部活動など自主的活動の推進
- (2) 地域連携、社会貢献活動の推進
- (3) 生徒の活躍を積極的に情報発信するなど広報活動の充実

4 将来の自分の姿を描かせる。（進路）

- (1) キャリアパスポートの有効活用と系統的なキャリア教育の実践
- (2) 就労支援による「働きかつ学ぶ」という生活スタイルの確立
- (3) 各種検定の取得に向けた取組の推進
- (4) 地元企業見学や出前事業など体験的な学習をとおした進路指導の充実